

清方の挿絵 第一部『文藝俱樂部』に見る明治・大正

雑誌『文藝俱樂部』には、小説の他に戯曲、落語、講談など様々な文芸が連載されていました。それらの背景に応じて、清方は市井の暮らしや四季の風物をもりこんだ作品を数多く残しています。

会期 平成19年2月18日(日)～平成19年3月25日(日)(開館日数:31日)

総入館者数 2,078人(一日平均:67人)



出品作品

「新大橋之景」「春の立場茶屋(金沢八景)」「梅蘭芳 天女散華」「カルメン」

「女役者衆八」

口絵(『文藝俱樂部』):「小春」「花吹雪」「あさ露」「梅雨晴」「そゞろあるき」

「よき事きく」「白鳥」「鸚鵡」「ゆふ暮」「伽藍」「緋桃」「汐干狩」「夜長」

「いで湯の夕べ」「こすもす」「爪紅」「湯治湯」「紅さす女」

下絵:「大川端」「新富町」「常磐津林中」「客間」「夏の女客」「瀧野川観楓」「鯛」

スケッチ:「林檎の花」「沈丁花」「梨の花の満天星」「花簪」「桃」「山吹」「椿」

表紙絵(『文藝俱樂部』):「藤娘」「海風」

挿絵(『文藝俱樂部』):「旗艦三笠の奮闘」「血薔薇」「水煙」「杉野十平次」

「真か偽か(是か非か)」「立波」

附録(『文藝俱樂部』):「軍国をんな雙六」

関連記事

平成19年2月15日 鎭木清方記念美術館 収蔵品展 清方の挿絵 第一部(広報かまくら)

平成19年2月 収蔵品展「清方の挿絵」(学びの道あんない2月・3月号)

平成19年3月 2日 鎭木清方記念美術館 清方の挿絵(鎌倉朝日)

平成19年3月 第1部『文芸俱樂部』に見る明治・大正(学びの道あんない3月・4月号)

清方の挿絵 第二部烏合会と『新小説』の時代

文芸雑誌『新小説』に掲載された口絵や烏合会への出品作を展示した。

会期 平成19年3月29日(木)～平成19年4月22日(日)(開館日数:19日)

総入館者数 1,084人(一日平均:57人)

図録 『鏑木清方 展覧会・挿絵図録ー烏合会と『新小説』の時代ー』



関連事業

「春休み子ども参加プログラム」

【テーマ】鏑木清方のスケッチを写そう

【講師】宮崎徹

【開催日時】平成19年4月3日(土)・4日(日)

「春休み親子鑑賞」

【開催日時】平成19年3月24日(土)～4月4日(日)

出品作品

「寒月」「暮れゆく沼」「深沙大王」「教誨」「嫁ぐ人」「曲亭馬琴」「夏の思い出」「しだれ桜」

「有掛自祝之絵」

口絵(『新小説』):「店暖簾(川上眉山著『店暖簾』)」

「冬の夜語(廣津柳浪著『冬の夜語』)」

「沼の女(小栗風葉著『沼の女』)」「起請文(泉鏡花著『起誓文』)」

「伊勢之巻(泉鏡花著『伊勢之巻』)」

「くもり日(中村春雨著『くもり日』)」

「津軽海峡(島崎藤村著『津軽海峡』)」「瓔珞品(鏡花小史著『瓔珞品』)」

「胡蝶之曲(泉鏡花著『胡蝶之曲』)」

「先師の面影(下絵)」「田舎源氏(下絵)」

関連記事

平成19年3月15日 清方の挿絵 第二部 烏合会と『新小説』の時代(広報かまくら)

平成19年3月31日 鏑木清方記念美術館 春休み親子鑑賞会(神奈川新聞)

平成19年4月 1日 鏑木清方記念美術館 収蔵品展「清方の挿絵」第二部(広報かまくら)

平成19年4月 2日 清方の挿絵 第二部(鎌倉朝日)

平成19年4月 6日 清方の挿絵第2部／烏合会と『新小説』の時代 鏑木清方記念美術館
(神奈川新聞)